

2020年10月15日



(証券コード:9948、東証一部・札幌)

2021年2月期 第2四半期 決算説明会(電話会議)資料

タイムスケジュール

15:00～15:02 (2分間)	司会 (冒頭説明)
15:02～15:15 (13分間)	古川専務
15:15～15:40 (25分間)	横山社長
15:40～16:20 (40分間)	質疑応答

《目次》

I. アークスグループの取り組み	P1
II. 2021年2月期 第2四半期業績サマリー及び通期業績計画の修正	P2

業績予想や将来の見通しなどは、当社が現時点で入手した情報と、合理的であると判断する一定の前提を用いており、実際の業績等はリスクや不確定な要素などのさまざまな要因により、異なる可能性があります。

I. アークスグループの取り組み

代表取締役社長 横山 清

1. 食品小売業界のこれから

(1) 「コロナ特需に酔うな」

- ✓ 景気後退により更に消費マインドが停滞、節約志向・低価格志向の強まり

(2) 小売業界の再編成気運について

- ✓ 業態間・会社間・店舗間の格差拡大 ⇒同業においても前年割れ実績企業発生へ

2. with コロナにおけるアークスの近況

(1) 新日本スーパーマーケット同盟

- ✓ メーカー様との取り組み推進、生鮮食品の共同購入
 - ・ 「NO1プロジェクト」企画 ⇒複数の単品で日本一の販売達成
 - ・ 規模を活かした仕入 ⇒競争力や商品力の更なる強化
- ✓ 更なるデジタル化への対応

(2) 新システム稼働状況

- ✓ DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進
 - ・ 需要予測型の自動発注システムの導入拡大
- ✓ 情報分析機能の利活用を推進
 - ・ 事業子会社のデータを横串し、リアルタイムで共有・活用

3. コロナ禍の今こそ考え方、行動を変える好機

- ✓ 変わらないもの・・・M&A（Mind & Agreement）による Try, One Trillion
- ✓ コロナが時代を早める（消費者の行動変化へ迅速に対応）

2021年2月期 第2四半期業績サマリー及び通期業績計画の修正

1. 連結決算の概要

(1) 2021年2月期第2四半期累計(2020年3月～8月) 業績サマリー

(単位:億円)

	実績	前年差	前年比	当初 計画差	当初 計画比	伊藤C除く 前年差
売上高	2,821.4	+ 254.7	109.9 %	+ 161.4	106.1 %	+ 183.1
売上総利益	708.3	+ 72.4	111.4 %	+ 32.3	104.8 %	+ 54.4
販管費	604.4	+ 28.2	104.9 %	△ 7.2	98.8 %	+ 12.5
営業利益	103.9	+ 44.2	174.0 %	+ 39.6	161.7 %	+ 41.8
経常利益	113.9	+ 45.0	165.4 %	+ 41.4	157.1 %	+ 42.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	76.1	+ 31.1	169.0 %	+ 31.1	169.3 %	+ 29.6

(2) 2021年2月期四半期(3ヵ月)毎の連結業績サマリー

(単位:億円)

	実績		前年差		前年比	
	1Q	2Q	1Q	2Q	1Q	2Q
売上高	1,404.9	1,416.5	+ 145.2	+ 109.5	111.5%	108.4 %
売上総利益	356.3	352.0	+ 45.0	+ 27.4	114.5%	108.5 %
販管費	297.8	306.6	+ 11.8	+ 16.4	104.1%	105.7 %
営業利益	58.5	45.4	+ 33.2	+ 10.9	231.7%	131.8 %
経常利益	63.0	50.8	+ 33.5	+ 11.5	213.5%	129.3 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	42.5	33.6	+ 23.6	+ 7.5	224.9%	128.7 %

(3) 主要6社の業績(2021年2月期第2四半期累計)

(単位:億円)

		ラルズ	ユニバース	ベルジョイス	福原	道北アークス	東光ストア
売上高	実績	713.2	671.5	429.0	218.0	225.8	235.3
	前年差	+ 74.4	+ 32.5	+ 23.1	+ 9.3	+ 12.2	+ 17.5
	前年比	111.7 %	105.1 %	105.7 %	104.5 %	105.7 %	108.1 %
経常利益	実績	40.9	33.0	7.5	12.1	5.1	6.1
	前年差	+ 14.2	+ 5.2	+ 3.8	+ 8.0	+ 6.3	+ 3.2
	前年比	153.5 %	119.0 %	206.4 %	297.2 %	∞	216.9 %

(4) 既存店売上高 構造分析

(単位:%)

		3月	4月	5月	1Q	6月	7月	8月	2Q	上期	9月
売上高	北海道	105.3	110.1	112.8	109.4	105.2	106.9	107.2	106.5	107.9	101.2
	東北	105.0	108.4	108.0	107.1	101.0	105.7	103.3	103.4	105.2	99.4
	SM合計	105.1	109.4	110.8	108.4	103.5	106.4	105.5	105.1	106.8	100.5
客数	北海道	97.9	98.0	96.5	97.5	95.6	96.1	97.6	96.4	96.9	95.0
	東北	101.4	100.2	97.2	99.6	95.2	97.5	97.7	96.8	98.2	95.8
	SM合計	99.4	98.9	96.8	98.4	95.4	96.7	97.6	96.6	97.5	95.3
客単価	北海道	107.5	112.3	116.9	112.2	110.1	111.2	109.9	110.4	111.3	106.6
	東北	103.5	108.2	111.2	107.6	106.1	108.4	105.8	106.8	107.2	103.8
	SM合計	105.8	110.5	114.5	110.2	108.5	110.0	108.1	108.8	109.5	105.4

(5) 2021年2月期第2四半期累計

営業利益 増加要因(対 前年同期)

	(単位:億円)	
① 売上増加要因	+ 45.3	売上総利益の増加 +54.4
② 売上総利益率増加要因	+ 9.0	
③ 給料・手当、賞与引当金、退職給付費用	△ 10.5	販管費の増減 △ 12.5
④ 新システム経費	△ 10.4	
⑤ 新型コロナの影響を含む販管費減	+ 8.4	
⑥ 伊藤チェーンの業績貢献	+ 2.4	
営業利益 増益額	+ 44.2	

2. 2021年2月期 通期業績計画の修正

(1) 2021年2月期修正計画

(単位:億円)

	上半期		下半期		通期	
	実績	当初計画差	修正計画	当初計画差	修正計画	当初計画差
売上高	2,821.4	161.4	2,628.5	△ 11.4	5,450.0	150.0
売上総利益	708.3	32.3	676.6	△ 7.4	1,385.0	25.0
販管費	604.4	△ 7.2	625.2	8.9	1,229.7	1.7
営業利益	103.9	39.6	51.3	△ 16.3	155.3	23.3
経常利益	113.9	41.4	59.6	△ 15.9	173.5	25.5
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	76.1	31.1	26.8	△ 13.0	103.0	18.0

(2) 下半期計画修正の要因

(単位:億円)

営業利益 対当初計画増減

① 売上総利益減少	△ 7.4
② 上半期からの繰越経費	△ 5.2
③ 当初計画外の経費	△ 2.6
④ 人件費増額	△ 2.5
⑤ 販売費削減	1.4
営業利益への影響額	△ 16.3